

令和5年度対サブサハラ15カ国無償資金協力及び令和5年度補正予算案件に係るローチング式典（WFP連携）

2024年7月2日（火）、令和5年度対サブサハラ15カ国無償資金協力「サブサハラ・アフリカにおける食料安全保障向上のための緊急支援計画」及び令和5年度補正予算「マリにおける国内避難民に対する包括的食糧支援－2024年」に係るローチング式典がマリ食糧安全保障庁（CSA）で開催されました。

世界食糧計画（WFP）が主導し、日本が総額4,242,259米ドルを支援する両案件は、日本の無償資金協力の一環です。

本式典は、アグ・モハメド・アリ・マリ食糧安全保障庁長官、エリック・ペルディソンWFPマリ事務所長、上藺英樹駐マリ日本大使の出席のもと開催されました。

本支援は、マリ北部のガオおよびメナカ地域で紛争の影響を受ける人々の基本的な食糧および栄養ニーズを満たし、国内避難民や社会的弱者に対して健康的で栄養価の高い食糧へのアクセスを促進することで、包括的な食糧援助の提供を目的としています。

